

横浜市立梅林学校 平成29年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> ○学校・地域の特色を活かした教育課程の運営、改善を進めます。 ○「楽しくわかる授業」による確かな学力の向上と個に応じた指導の充実を図ります。 ○豊かな心とたくましい体を育てる健康教育を推進します。 ○子供たちが安全・安心して豊かに学び素月支援体制の確立を目指します。 ○信頼で結ばれた活気ある教職員協力体制の確立を目指します。 	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

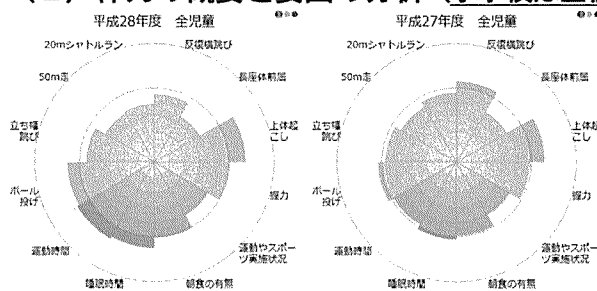
重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	「いきいきキッズ」の取組を中心に、運動の楽しさや喜びを味わわせながら、自分のめあてに向け根気強く取り組ませ、体力の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ①校内研修による、体育科・保健体育科の授業改善を図る。 ②体力テストや独自指標等の結果をもとにした、体力向上1校1実践運動の改善を図る。 ③体力テストの結果等を保護者と共有するなど、家庭や地域と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図る。
担当	体育部	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・新体力テストの結果を全国平均および市の平均と比べると、いくつかの種目・学年において下回る傾向にある。特に「50m走」「長座体前屈」について、その差は大きくなっている
- ・地域には、トンネル公園や新杉田公園、坪呑公園など外遊びができる空間が多いが、放課後、体を動かして遊んでいる児童が少ない傾向にあり、よく体を動かす児童とそうでない児童の二極化が見られる。
- ・晴れている日の休み時間には、外に出てボール遊びやおにごっこなどをする児童が多いが、校舎内に残って内遊びをする児童も見られる。また遊び中にけんかをし、けがをしてしまう児童もいる。
- ・体育では、自分にあつためあてをもてず、活動に粘り強く取り組もうとする態度があまりみられない。
- ・児童の睡眠時間は、平均8～9時間だが、高学年では12時過ぎに就寝する児童が1割いる。
- ・児童の9割が毎日朝食を食べている。

(2) 体力の概要と要因の分析 (小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用)



新体力テストの結果から、上体起こし・ボール投げ・握力については市の平均を上回るが、それ以外の項目については、平均を大きく下回る。いきいきキッズなどを中心に、ドッジボールを推進していった結果、一定の距離を持続して走ったり、校庭を走り回ったりする機会が少なくなったことが原因とみられる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・体育科・保健体育科では、運動の特性にふれながら、基本的な動きや技を身につけさせる。
- ・区研究会での技能表を活用し、取り組むべきめあての具体化を図り、児童がより取り組みやすいよう、段階的に指導する。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図る。
- ・理科では生命の尊さを指導する。

道徳・特活・総合

- ・道徳・生活科では命の尊さに触れる学習を取り入れる。
- ・運動会では、体育科で培った資質能力をさらに発展させ、目標に向かって友達と協力しながら活動し、目標達成や成功の喜びを味わうことができるようにする。
- ・学校保健委員会では、よりよい生活習慣が身につくように、食事・運動・睡眠についてめあてを立て、クラスで年間を通して活動していけるようにする。
- ・学年の発達段階に応じた食教育の充実が図れるよう栄養士と連携して指導する。

課外活動

- ・夏季特別水泳を夏休み初日から7月いっぱいとし8月後半を使い、実施している。例年参加児童の割合が高くなってきて、泳力別コース設定と指導内容の具体化の成果が表れてきている。
- ・磯子区民駅伝、杉田マラソンに出場している。毎年多くの児童が参加し、意欲を向上させる取り組みとして期待できる。

平成29年度 梅林小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 休み時間における運動の充実

《ねらい》 運動機会の確保

《内容》 運動委員会が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。

- ・長縄大会（年間2回各クラスごと）
- ・マラソンチャレンジ
- ・障害物走チャレンジ
- ・柔軟チャレンジ

- 指 標： ①新体力テスト「ソフトボール投げ」「50m走」「シャトルラン」「立ち幅跳び」「反復横跳び」「上体起こし」「握力」「長座体前屈」
- ②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。